

モニタリングレポート(令和7年度)			
施設名	イスのサンケイホール鈴鹿(鈴鹿市民会館)		
施設所在地	三重県鈴鹿市神戸一丁目18-18		
指定管理者	鈴鹿アートライフデザイン 【代表構成員】 株式会社JTBCコミュニケーションデザイン 【構 成 員】 国際ライフパートナー株式会社 【構 成 員】 近鉄ファシリティーズ株式会社		
施設担当課	文化振興課	問合せ先	059-382-7619
モニタリングの 実施方針・方法等	施設の管理運営状況については、日報、月次報告書、年次事業報告書、年度事業報告書、定期的な現地調査、指定管理者へのヒアリング等により確認した。		

1 運営状況

1-1 施設の運営状況

項目	計画値	実績値	計画比
開館日数	307日	307日	0日
開館時間	2,612時間	3522.65時間	910.65時間
利用者数	100,000人	71,430人	▲28,570人
事業参加者数	10,614人	11,540人	926人
平均利用者数(/日)	232.7人	施設稼働率	41.7%

1-2 目標の達成状況の推移

1. 施設稼働率の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
目標値(%)	36	37	38	39	40
実績値(%)	42.7	41.7	-	-	-
差	6.7	4.7	-	-	-

2. 施設利用者数の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	合計
目標値(人)	90,000	100,000	105,000	110,000	115,000	520,000
実績値(人)	66,244	71,430	-	-	-	-
差	▲ 23,756	▲ 28,570	-	-	-	-

【運営状況に関するコメント】

令和7年度は計画通り307日開館し、開館時間についても夜間利用の増加により、計画を約911時間上回る結果となった。一方で、前年度に比べ施設稼働率が低下した点や年間利用者数が目標未達となった点、並びに特定の事業に集客が偏っている点が課題として挙げられる。

2 事業収支

2-1 指定管理料に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
指定管理料	82,026,000	82,026,000	0
利用料金	16,000,000	17,844,120	1,844,120
企画提案事業収入(自主事業を除く)	14,284,000	29,839,974	15,555,974
その他収入	150,000	622,415	472,415
収入計	112,460,000	130,332,509	17,872,509
人件費	29,930,000	29,930,000	0
旅費交通費	100,000	23,830	▲ 76,170
通信運搬費	300,000	348,321	48,321
受信料	50,000	12,276	▲ 37,724
消耗品費	1,000,000	539,266	▲ 460,734
備品費	100,000	185,127	85,127
修繕費	2,500,000	2,500,000	0
印刷製本費	500,000	293,793	▲ 206,207
燃料費	200,000	0	▲ 200,000
光熱水費	14,740,000	14,432,225	▲ 307,775
賃借料	600,000	617,136	17,136
手数料	200,000	85,305	▲ 114,695
保険料	370,000	459,050	89,050
委託料	42,785,000	42,891,676	106,676
本部管理費	100,000	92,600	▲ 7,400
企画提案事業	16,694,000	30,701,586	14,007,586
受託事業	1,500,000	1,387,161	▲ 112,839
その他支出	791,000	585,640	▲ 205,360
支出計	112,460,000	125,084,992	12,624,992
収支	0	5,247,517	5,247,517

2-2 自主事業収入に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
自主事業収入	16,400,000	15,137,234	▲ 1,262,766
収入計	16,400,000	15,137,234	▲ 1,262,766
自主事業経費	16,100,000	15,586,398	▲ 513,602
支出計	16,100,000	15,586,398	▲ 513,602
収支	300,000	▲ 449,164	▲ 749,164

2-3 使用料実績

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
実績額	—	—	—

【事業収支に関するコメント】

利用料金や企画提案事業等の収入増により、全体の収入は計画を上回る結果となった。支出面では一部の管理経費で削減が見られたこともあり、収支は黒字を確保した。一方で、企画提案事業や自主事業の収入面では依然として計画値を下回っているため、今後はさらなる収益性の向上と事業内容の工夫が期待される。

3 業務内容

3-1 協定書、仕様書、事業計画書に定める業務の履行状況

評価項目	評価	所見
公の施設の管理者としての理解、姿勢：良・可・否の3段階で評価		
公民連携に対する理解と姿勢	良	行政との緊密な連携のもと法令遵守や環境配慮を徹底し、常に利用者目線に立った施設運営が実践されている。
施設に対する理解	良	
コンプライアンス、環境配慮に対する意識、理解	良	
業務の履行確認：可・否の2段階で評価		
施設運営の状況		
管理運営の実施体制	良	管理運営は計画通り適切に実施され、利用者対応や苦情処理も良好である。利用者数は目標未達だが増加傾向にあり、今後の更なる利用促進が期待される。
施設運営の実績	良	
施設の使用に関する業務の状況	良	
苦情・トラブルへの対応	良	
施設の維持管理状況		
保守・点検・各種設備等の管理業務	良	保守・点検や修繕は計画的かつ適切に実施され、施設の安全性と快適性が維持されている。清掃・備品管理も良好である。
清掃、植栽等及び廃棄物処理の状況	良	
備品の管理状況	良	
修繕の状況	良	
事業の実施状況		
指定業務内の事業の実施状況	良	指定業務及び企画提案事業は円滑に実施され、質の高い成果が見られる。自主事業も計画的に展開されており、今後の参加者促進が期待される。
企画提案事業の実施状況	良	
自主事業の実施状況	良	
サービスの質的評価：良・可・否の3段階で評価		
サービスレベルの評価		
施設サービス全般（接遇、情報提供、周知）	良	接遇、情報提供、維持管理はいずれも高水準で、利用者満足度もアンケートで好評を得ている。
維持管理業務	良	
運営業務	良	
事業内容の評価		
指定業務内の事業	良	指定業務及び企画提案事業は計画通り実施され、アンケートでも高評価であった。自主事業は参加者数が少ないが、内容や満足度は高く評価されている。
企画提案事業	良	
自主事業	良	
業務遂行能力の評価：良・可・否の3段階で評価		
指定管理業務に関する収支状況	良	指定管理業務収支において、適切な支出管理が行われており、指定管理者本体の財務も健全である。
指定管理者本体の財務状況	良	
その他の事項に対する評価：良・可・否の3段階で評価		
緊急時の対応評価	良	緊急時においてもマニュアルに基づき適切に対応が行われており、安心して利用できる体制が整っている。

【業務内容に対するコメント】

施設及び設備の保守点検や清掃は計画通り実施され、年間を通して安全な環境が維持された。また、利用者アンケートにおいても施設サービス全般に対して好評価を得ていることから、管理運営体制についても概ね適正に機能していると判断できる。今後も市民サービス向上への取り組みに期待したい。

4 総合コメント

【公の施設の管理者としての理解、姿勢】

指定管理者は公の施設の設置目的を踏まえ、公平性を保持した施設運営を行っている。市との継続的な連絡調整のもと、地域の文化振興の場として定められた業務計画を適切に遂行している。

【設置目的達成に資する取組としての的確性、独創性】

市民の鑑賞・発表の場として事業を企画・実施し、地域ニーズに沿った文化機会を提供した。また、関係団体や外部機関との連携による取組を実施し、施設の利用促進や事業内容の充実を図っている。

【適切な業務遂行のための体制、規律の整備と実行性】

人員配置は計画通り確保され、出納や書類管理なども適正に実施されている。マニュアルに基づく点検・清掃・修繕が計画的に行われ、緊急時対応も体制が整っている。職員の研修も定期的実施されており、業務全般の規律と実行性は高いと評価できる。

【経済性】

光熱水費をはじめとする管理経費の削減や業務効率化に取り組み、支出の抑止を図った。また、貸館等の利用促進により収入確保に努めており、計画に沿った予算執行が行われている。

【業務遂行能力】

指定管理者は人員配置や出納・書類管理を計画通り適切に実施し、利用者からの要望や苦情にも迅速・丁寧に対応している。事業参加者数においては目標を上回る成果も見られ、収支管理も安定しており、総じて高い業務遂行能力が認められる。

【指定管理者に対する総合コメント】

施設管理および事業実施の両面において、全体として適正な業務遂行が確認された1年であった。各構成員の役割分担のもとで体制が維持されており、今後も継続的な改善を図りながら、さらなる利用促進と効率的な運営を推進することが求められる。

5 施設の課題と対策

企画提案事業の充実で来場者が増加し、市民の文化活動の裾野が広がった。一方、年間利用者数は目標に届かず、さらなる集客策が求められる。駐車場は来場者増加の影響で混雑しやすいため、導線確保や警備・案内強化により利便性向上を図る必要がある。

6 施設の方向性

イスのサンケイホール鈴鹿は、市内の文化活動・交流の拠点としての役割を担っている。今後も、多様な事業の開催や利用提案を行うことで、稼働率の向上を目指す。あわせて、適切な利用環境を維持するため、計画的な施設・設備の保全管理を継続して実施することが求められる。